

## II. DIC の診断 / ガイダンス

### 3. 国際血栓止血学会 DIC 診療ガイドランス —世界の基準と日本の基準の違い、 ハーモナイゼーションは可能か?



三重大学大学院医学系研究科検査医学准教授 和田 英夫 (Wada, Hideo)  
三重大学大学院医学系研究科輸血部助教 松本 剛史 (Matsumoto, Takeshi)  
三重大学大学院医学系研究科血液腫瘍内科助教 青田 卓実 (Aota, Takumi)  
三重大学大学院医学系研究科血液腫瘍内科助教 山下 芳樹 (Yamashita, Yoshiki)

#### THROMBOSIS and Circulation



#### § 論文のポイント

- [1] 3つのガイドラインとも推奨するのは、スコアリングシステムによる DIC 診断、基礎疾患の治療、補充療法 (FFP ならびに PC の輸注) である。
- [2] 3つのガイドラインの推奨が異なるのは、補充療法 (フィブリノゲン、クリオプレシピテート、プロトロンビン複合体製剤)、線溶療法、抗凝固療法である。
- [3] ISTH の DIC 診療ガイドランスは、3つのガイドラインの推奨度をハーモナイズするために作成された。
- [4] 質の高い DIC に対する抗凝固療法のエビデンスは少なく、さらにエビデンスを積み重ねる必要がある。
- [5] DIC の抗凝固療法に関しては、日本では「科学的根拠に基づいた感染症に伴う DIC 治療のエキスパートコンセンサス」に従うのが望ましい。

#### § キーワード

ガイドライン / エビデンス / エキスパートコンセンサス / ISTH / 推奨度